



スモールビジネスのサクセスストーリー

このシリーズを通して私は、主に従業員の視点から在宅勤務の例を紹介してきました。今回は、雇用主の視点から見た在宅勤務がどのようなものであったかを考えてみたいと思います。

自閉症スペクトラム関連リソースと教材を主に提供するスモールビジネスである [Different Roads to Learning](#) 社の経営者であるジュリー・アズマ氏にインタビューしました。アズマ氏は、自閉症スペクトラム障害を持つ子供のために適切な製品を見つけることがまだ困難だった 1995 年に起業しました。今回は、彼女の会社がどのようにして在宅勤務に対応しているか、お話を伺いました。

テクノロジーとスモールビジネス

正社員 2 人を雇用するスモールビジネスを経営するアズマ氏は、業務を支援するためのテクノロジーを早くから積極導入してきました。同社での受注、コミュニケーション、会計は、様々なテクノロジー・ソリューションによって自動化されています。

スモールビジネスにとって（大企業でも同様ですが）、テクノロジーの発達によって業務プロセスの改善が簡単に実現できるようになりました。インターネット広告、業務プ

プロセスの標準化、Eメールの定型化・自動化、ソフトウェアを使ったビジネス機能の自動化といったテクノロジーにより、企業は時間もコストも節約できます。

アズマ氏は起業してすぐの頃から、最新の各種テクノロジーが自分のビジネスニーズを満たすものかどうかを評価することによって、システムとビジネスプロセス改善の可能性を見極め、積極的に採用してきました。

ソフトウェア・ソリューションを利用することで多くの業務・機能が自動化され、社員の限られた時間は、ビジネスの成功に最重要と考えられるコアタスクに集中することが可能になりました。

同社ではスモールビジネス向けのさまざまなソリューションを活用して、受注と注文処理、相互にリンクされた在庫管理と会計など、広い範囲で業務を改善し自動化することができました。また同社では、従業員、コラボレーションパートナーや顧客を含む国際的なネットワークを繋げ合わせる、複数のオンラインミーティングツールを採用しています。

どこにいても電子ファイルにアクセス可能にする管理ツールを導入済みだったおかげで、今回の危機における同社の在宅勤務への移行はスムーズなものでした。

未来に焦点を当てる

アズマ氏の会社では今回の危機にあたり、各種システムが導入済みでしたが、今彼女は将来この危機が過ぎたとき、いわゆるアフター・コロナ時代に同社のビジネスがどのような姿になっているだろうかという点に目を向けています。現在同社では、今年の予算

計画を見直し中で、他のスモールビジネスにも同様に事業計画の見直しをするようアドバイスしています。削れるコストは思い切って削減して経営体質をスリムにしておけば、コロナ危機の間もそれを乗り越えた後も借金をしないで済みます。

また各企業においては、顧客、サプライヤー、ベンダーなどと緊密に連絡を取り合うことが推奨されます。これにより、危機を通じて関係がより強まったり、そうでなくても取引先に忘れられてしまうのを予防できます。今すぐにはビジネスを再開できない場合でも、あなたのビジネスのことを顧客に忘れられないように努力しましょう。アズマ氏の場合、学校向けの製品を開発して、学校が閉鎖されている期間中も予約注文を受け付け、教材へのオンラインアクセスについて情報を発信し続けています。

私たちは、今回のコロナ危機を乗り切ることができない会社も出てくると予想しています。しかし、迅速かつ柔軟に変化に適応し、クリエイティブでありつづけることによって、企業が生き残るチャンスを向上することが可能です。

テクノロジーによって可能なこと

今回のコロナ危機により、多くのスモールビジネスでは、非常時のビジネス継続のための準備が不十分だったこと、またテクノロジーの活用度で遅れをとっていることが露呈しました。スモールビジネスでは、それがどのような業界であれ、新しいテクノロジーを使ったソリューションを活用することは、それが社内システムでも外部サービスであれ、大変役に立ちます。アズマ氏の会社の場合、以下のような業務分野で合理化の成果が上がっています：

- ・機能の合理化と業務効率アップ

- ・ マーケティングと広告
- ・ 情報提供と教育
- ・ オーガナイズ
- ・ ビジネスプロセスの標準化
- ・ 製品の販売
- ・ パフォーマンスに関する各種レポートの作成

ジュリー・アズマさんの会社は、スモールビジネスが企業経営にテクノロジーを最大限に活用している好例であり、その結果として将来、アフター・コロナの時代を乗り切ったスモールビジネスの成功事例になることでしょう。

日本で暮らした10年の経験と、世界中に散らばったリモートチームとの共同作業で約20年もの経験を持つイヴォンヌ・バートンさんは、国際的に活動する日本企業や日本市場で事業を展開している欧米企業にテクノロジーコンサルティング、ビジネスコミュニケーションセミナー、異文化トレーニングなどのサービスを提供する [バートン・コンサルティング・インターナショナル](#)社の社長です。イボンヌさんの経歴や同社のサービスの詳細には、burtonconsulting.biz を参照してください。

日本人のみなさんや、日系企業で働いている外国人の方々など、在宅勤務は今回が初めてという方も多いと思います。慣れないテレワークで生活のリズムづくりに苦労しているお友達がいたら、この記事シェアしてあげてください。また、実際に在宅勤務を始

めてみて直面している問題などがありましたら、ぜひ教えてください。その他、質問や、イヴォンヌさんに取り上げて欲しいトピックなどありましたら、[susan @ japanculture-nyc.com](mailto:susan@japanculture-nyc.com) までメールをください。イヴォンヌさんは週に3回のペースでこのサイトに投稿する予定ですので、彼女から学ぶ機会はたくさんあります！

コロナウイルスに関する情報へのリンク：

<https://www.who.int/>

<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-nCoV/index.html>

<https://coronavirus.health.ny.gov/home>

<https://www1.nyc.gov/>

JapanCultureNYC は、ニューヨークの日本に関することならなんでもあつまっている英語のウェブサイトです。JapanCulture-NYC.com で、次のお気に入り日本アイテムを見つけてください。